

神経内科

当該診療科の特長	当院は神戸市北区唯一の神経内科として変性疾患、脳炎、髄膜炎、脱髄性疾患等多岐にわたる神経疾患が紹介されてくる。	
プログラムの特長	神経内科の初診外来における診断プロセスから入院での高度な専門診療まで学ぶ事ができる。また、脳卒中に関しては脳外科と共同してオンコール体制をとっており、t-PA 治療をはじめとして脳卒中の急性期治療を学ぶ事ができる。	
到達目標	<p>【1年目】 指導医・上級医による指導をうけながら、主治医として外来・入院診療の研鑽を積む。各種のカンファレンスや症例検討会を通じて神経内科の考え方や知識を学び、必要な診断方法や治療方針を習得していく。また、検査業務については、指導の下に適切に施行出来るようにする。救急外来では、神経内科救急に対する処置について研鑽を積む。外来では、退院後の患者の治療継続を行い、疾患の縦断像を把握出来るよう努める。指導医や上級医の指導の下、各種書類を適切に記載する。医療安全・医療倫理の講演会には積極的に出席する。</p> <p>【2年目】 引き続き、指導医・上級医による指導をうけながら、主治医として外来・入院診療の研鑽を積む。カンファレンスや症例検討会を通じて神経内科の考え方や知識を深め、診断方法や治療方針を習熟していく。基本的な疾患では適宜指導医・上級医に相談しながら一人で診療可能なレベル到達を目指す。検査業務についても基本的な内容は一人で施行出来ることを目標とする。救急外来では、神経内科救急に対する経験を深める。積極的に外来業務を行い、疾患の幅広い知識を身につけるとともに、引き続き疾患の縦断像を把握出来るよう努める。指導医や上級医の指導の下、各種書類を適切に記載する。医療安全・医療倫理の講演会には積極的に出席する。</p> <p>【3年目】 神戸大学病院との連携を通じてさらに高度な神経内科の専門的診療の習得を目指す。主治医として外来・入院患者を受け持ちながら各種検査を行うとともに、臨床研修医の上級医としての指導も行う。神経学会の定めるミニマムリクアイアメントを適切に達成出来るよう、指導医と相談し、不足する研修内容は学会ハンズオンセミナー、各種学習会などを通じて習得出来るよう研鑽に励んでいる。</p>	
研修期間	3年間	
取得可能な資格等	学会名	取得可能な資格
	日本神経学会	日本神経学会専門医
指導体制	指導医：1名	
その他	神戸大学との連携あり。 専攻医においては、大学医局への所属、未所属へ関係なく受け入れている。	